

工場緑化技術について

◆工場緑化手法の概要

一般に「エコロジー緑化」と呼ばれ、良好な植生基盤の造成と立地の潜在自然植生による樹種選定と、その幼苗を密植することにより、大面積の樹林を造成する手法

■この工法のメリット

- 工事費の低減化と強風地・急斜面地等の悪条件地において緑化が可能
- 短期間で環境保全機能を目的とした大規模緑地を形成

■施工のポイント

- 目標樹林形態の十分な検討が必要。（多様な機能・景観への対応）
- 適地適木適植（適した場所に適した樹種を適した手法を用いて植栽する）で運用していくことが重要。
- 多様な緑地機能や景観を創造するため、遷移の過程で出現する落葉樹や低木等の混植が重要であり、人為的に遷移をコントロールすることに主眼を置く必要がある。※遷移=優占種の異なる様々な群落に移り変わっていく現象

■事例① 新名古屋火力発電所



施工後



施工後約1年



施工後約11年

■事例② 碧南火力発電所 施工状況



土壌改良状況



ポット苗植付状況



ワラマルチング敷設状況